

奥の細道むすびの地「大垣」十六万市民投句
令和二年三月度 入選句（投稿総数千三百七十句・一般投句数三百九十九句）

特選

一字づつ春呼びよせる写経かな 不破郡垂井町 竹嶋 富美子

先ず、この句を読んで感じた事は作者はある程度年令がいかれた人だと思った。私の独断かもしれないが酸いも甘いも分った人だとも思った。上五から中七にかけて「一字づつ春呼びよせる」がすばらしい。
若い人は写経など先ずしない。写経する事により、心のやすらぎを得て自分の人生を振り返り、明日から又生き生きと日々を送ろうと言う決意さえ感じる。

菜の花の色をきはめて茹であがり 岐阜市 田中 淳子

春を迎え、野菜の和え物が美味しくなる。この湯で上った菜の花は何がすばしいか、緑色のしたたる葉か、茎か決して花の黄色では無い。この菜の花の緑を頂き、明日からパワー全開で活動できそうな気がする。中七の「色をきはめて」が大変すばらしい。

老幹にみなぎる命 盆梅展 大垣市 新町 恵子

句を読んで思い浮かんだ事は、長浜の盆梅展である。
桜は古いものでは、薄墨桜のように千五百年のものもあるが、梅の古木は先ず、百年。でも老幹にみなぎる命は決して桜でなく梅である。
毎年、長浜に趣いているが、今年に行かなかった。来年は又盆梅展へ行きたい。

秀逸

春景色どの水となく光り合ひ	愛知県名古屋	市	舘野	茂子
干し物を取り込み忘る日永かな	大垣市		仁村	光生
下萌や庭に埋もれし花名札	大垣市		佐竹	余史美
残り日の思案めぐらす卒業子	大垣市		北島	暁子
春光や城より高き新庁舎	大垣市		小林	研
鈴の音を残し余寒の奥座敷	大垣市		高木	歌佐
マニキュアのひかる茶筌や草の餅	大垣市		早笈	千恵子
切り絵めく白川郷の雪景色	安八郡神戸町		高橋	日出美
叱りすぎし寝顔の二つ春隣	静岡県藤枝市		山本	紫苑
正論がゆるゑの空しさ冬銀河	長野県下伊那郡		長沼	まさし

入選

辞書引けば辞書に一すじ木の葉髪
夜更けまで洩れくる灯り受験生
文楽や雪をあやつる指の艶
探梅行知らずに老いていたりけり
露味噌に爺の話の花が咲く
路線バス終点駅の野梅かな
ぶらんこを高く漕ぎ出し夢語る
的を射る邪鬼を祓ひて追儼の日
さばかれた春鮒狙うトビの群れ
近づけば薄紫の春の山

愛知県額田郡 平松 京師
安八郡神戸町 早津 郁男
本巢市 林 明夫
東京都世田谷区 関戸 信治
不破郡垂井町 宮代 一草
大垣市 清水 迪子
大垣市 福田 木綿子
不破郡垂井町 児玉 昌巳
京都府宇治市 中村 広美
大垣市 井沢 美志津

入選

淑女にはほど遠き児の雛祭り
口漱ぐ水の甘さや寒の内
はかま取る爪は土筆の色染まる
不揃ひの金糸卵や雛の夜
指先に今の仕合せ露の薑
青空は大きキャンバス梅千本
梅一輪枝に動きのありにけり
漉く者の心のすけて本美濃紙
臍繰りは御内裏様の膝の下
二歳児のオウム返しや日脚伸ぶ

大垣市 高津 喜久子
不破郡垂井町 川瀬 慶泉
大垣市 大原 巖
奈良県奈良市 やまとなでしこ
大垣市 北浦 典子
大垣市 早崎 美弥子
滋賀県甲賀市 甲賀 忍者
岐阜市 後藤 衣錦
三重県鈴鹿市 松井 政典
大垣市 平野 ヒサエ

選者吟

春兆す色動き出す飛驒の郷

誠

一